

公表基準に基づく医療事故の包括的公表（平成22年度）

名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院

	発生年月	発生場所	事故の概略	再発防止策
1	2010年4月	病室	起床後ベッドに端座位を取り、車椅子への移乗介助の際、腰臀部がひけているのを支えきれず、看護師と共に座りこむかたちでゆっくりと尻もちをついた。当直医へ連絡し、レントゲンの結果、右上腕骨骨折が認められ、バストバンド固定、湿布貼用し、疼痛時は座薬使用の指示を受ける。	自己の技術に過信することなく万全に注意する 技術の勉強 危険予測・判断をし、1人では困難と判断した場合は、他のスタッフに声をかける等の対応をする
2	2010年9月	トイレ	他院からの紹介患者さんが来院直後トイレに入り、個室から出るときにドアが開きにくく、力を入れてあけたところ、ドアの下端の金属部分が左母趾に当たり、裂傷を負う。傷病名：皮膚剥離欠損症。整形外科にて縫合処置。	患者様が単独で使う所・患者様職員共有で使う所・職員が使う所と、場面による優先度も考慮しながら、設備点検巡視